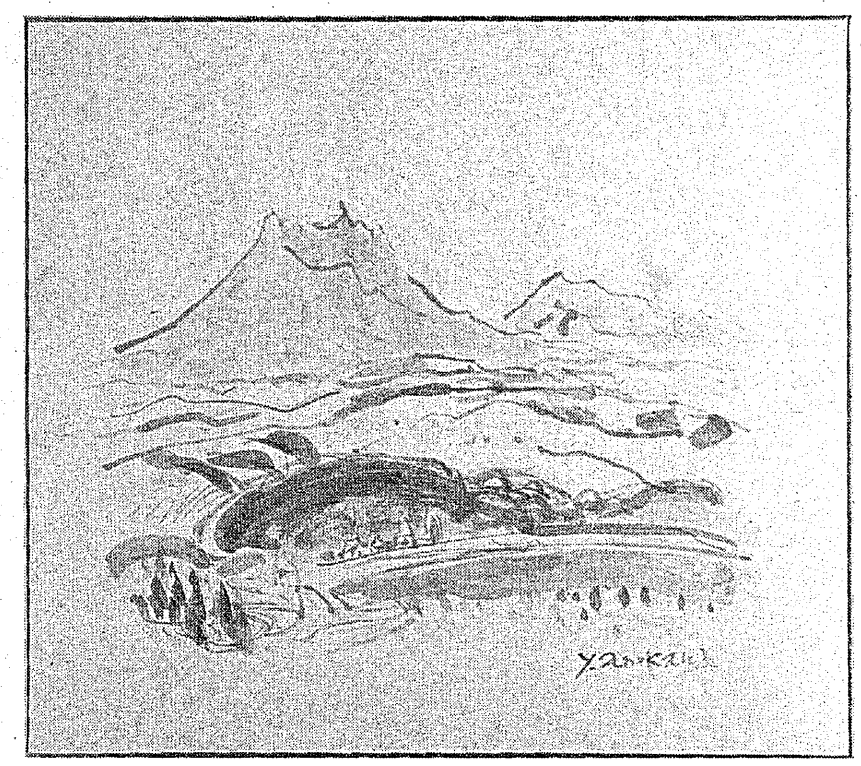
山のある風景



波野高原

太観峰から眺める阿蘇五岳が絶好だといわれるが、阿蘇谷と竹田市の中間あたりが波野であり、春の山菜摘みで有名。ここからは根子岳が間近かに迫る。（絵は墨淡彩、18分会姉川良男。姉川さんは大牟田総合美術展の審査員をつとめている）

秋の阿蘇へ 統一行事迫る

16日に実行委

初めての全組合員を対象にしたバス旅行がいよいよ迫ってきました。

とき　九月三十日（日）

ところ　阿蘇（火山博物館、草千里、内の牧温泉）

行事内容、集合地点までの配車なども実行委員会で検討されました。

囲碁愛好会が 囲碁大会開く

総合優勝は浦川さん

三池労組囲碁愛好会（高木哲雄会長）は、九月九日午前九時から組合事務所で囲碁大会を催しました。朝からあいにくの雨でしたが、十六人が集まり三パートにわかれて熱戦を繰り広げました。

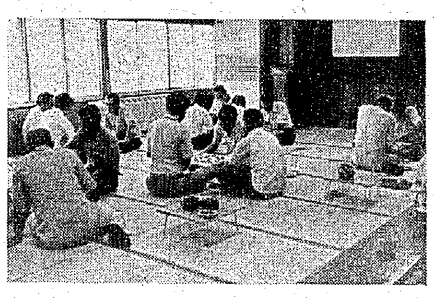
当日の対戦成績は次のとおり。

〈A組〉
一位　猿渡　章博（18分会）
二位　金子　八郎（O B）
三位　久保田睦男（2分会）

〈B組〉
一位　荒木　一徳（11分会）
二位　小川　紘志（15分会）
三位　村上　静雄（7分会）

〈C組〉
一位　浦川　秀夫（16分会）
二位　西森　義彦（O B）
三位　遠藤　長市（O B）

なお、対戦成績の結果総合優勝は浦川秀夫さんが獲得しました。



熱戦つづく囲碁大会

退職者旅行の参加申し込み

十月三十日まで

今年度の定年退職者旅行は十二月二日から二泊三日で沖縄本島観光とすでに決まっていますが、参加希望者の申し込みを募っています。本人は五万円（個人負担四万円）、同伴者とその他の参加希望者は六万円です。早目にどうぞ。

沖電気争議団からお礼状届く

お礼

沖電気争議団の闘いと生活を支える八四年夏期物品販売、カンパに格別のご協力、ご支援をいただきありがとうございました。

全国の労働組合からたくさんのご注文をいただきました。貴重な闘争費用として大切に使わせていただきます。

沖電気指名解雇撤回の闘いも六年目、今年は東京地裁で審理と並行して職権和解が進められるという重要な局面をむかえ、沖電気争議団、団結をかため、一日も早い指名解雇撤回、七十二人全員の職場復帰めざして頑張る決意です。今後も一層のお力添えをいただきますようお願い致します。

一九八四年夏

沖電気争議団

×　×

ご協力いただいた組合員の皆さま、ありがとうございました。

女の見

誇りと勇気を

東ブロック　緒方　ツルエ

「野林さんはだいじょうぶじゃろね」と長女がいうと、二女が『頑張ろう』を歌ってまぜっ返します。

二人とも福岡で暮らしていて、久しぶりに二人そろって、お盆に里帰りした時のことです。

すでに長女は二児の母となりましたが、二つ違いの二女は『三池闘争』のまっ最中に生まれました。

宮の前社宅に転居してまだ一年足らずの頃でしたが、主婦会のみなさんの心暖まる班ぐるみのあと押しの中で育ちました。

『千二百名』の方たちが転居される時、大牟田駅頭で『頑張ろう』の歌で送ったことを思い出して、私が主婦会員になったのは昭和三十一年十一月ですから、月日のたつのは早いものです。あれから二十八年になります。

大闘争に始まり、三川鉱の大爆発、差別・切り崩し、坑内火災と長いたたかいの連続でしたが、その中から主婦会員の誇りと勇気を与えてくれました。

子供たちも、たとえ貧しくとも明るく元気に成長しました。

主人も十二月で定年退職になります。三坑町の社宅で生まれ、三井の私立幼稚園、小学校を出てから五十五年、長かった三井との縁もあと三カ月となりました。

退職後は、主人も『退職者の会』に入るといっていますし、私もその家族として頑張っていきたいと思っています。

くらしと統計

共稼ぎにも黄色信号

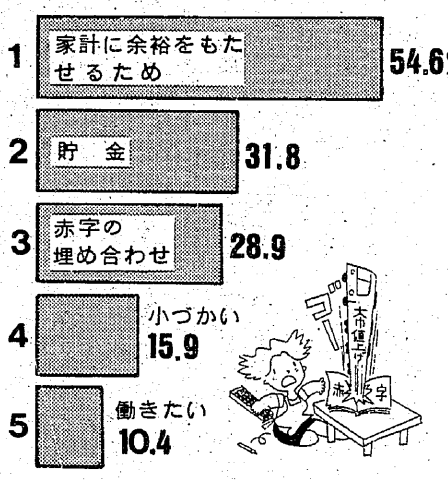
収入は伸び悩み、借金が貯蓄の伸びを上回り、共稼ぎでやっと家計を維持――最近、総理府や厚生省が相次いで発表した統計は、こんな国民の生活実態を浮き彫りにしています。

昨年のサラリーマン世帯の月平均収入は四十万五千五百十七円で、前年比わずか一・三%増えただけ。さらに税金や社会保障費をがっぽり取られたため、手取り収入は〇・七%増の三十四万四千百十三円にしかなりません。これでは消費はままならず、教育、被服・履物、食料費支出はマイナスになりました。

貯蓄は平均六百十一万円、伸び率は二十一年ぶりの低率を記録しました。一方、借金ばかりは増えつづけ、前年比一九%増の二百八万円。住宅ローンのある世帯では五百八十一万円にも。

苦しい家計を支えるのが妻の働き。一昨年には全世帯の三分の一の妻が働きに出、世帯収入の三～四分の一を稼ぎますが、収入は鈍化。どうなることやら、わが家のくらし。〔連合〕

妻が働く理由
（厚生省：国民生活実態調査）



有明鉱大災害パンフレット 増補版をどうぞ

またも三井の大量殺人

―三池からの報告―

原因究明、責任追及、保安確立、完全補償のために

目次

声　明（三池労組）……1
有明・惨（詩）……2
追及される保安の手抜き……4
声　明（炭労）……6
災害現場の略図……7
有明鉱の歴史……8
息子二人は殺された（レポート）……9
また仲間の命が奪われた……14
「命と生活を守る」労働運動を高らかに……16
いまなお「命の危機」……18
今のままでは危い……20
「最新鋭優良鉱」の保安不良……22
資料・災害経過と団体交渉……24
犠牲者のお名前……29
炭鉱災害・他……30
災害箇所図面……31
新聞写真……35
炭労調査団報告・他……48
政府調査団中間報告・他……56

▼発行　三池炭鉱労働組合
▼体裁　B5版　写真多数　六十二ページ
▼頒価　五百円（送料一百四十円）
▼まとめていただきますと送料は不要です。
▼振り込みの場合は、福岡県労働金庫大牟田支店
一二八三九〇三一〇〇三をご利用下さい。